

大台ヶ原における新しい利用のあり方メニュー案

参考資料 1-5

—今後、以下のような案について具体的な検討を進めていく予定です—

これらの案をはじめ大台ヶ原の利用のあり方について、ご意見をお聞かせください。

マイカー規制による利用適正化

■ドライブウェイにおけるマイカー通行規制

◆検討案

- ・利用者数の多い時期（年間 20 日間程度）にマイカーのドライブウェイ通行を規制。
- ・規制期間中は、パーク&バスライド方式（麓の駐車場にマイカーを止め、山頂への移動はシャトルバスに乗り換える）を導入。
- ・規制道路区間と麓の駐車場については、自然環境への影響、整備コスト、地域振興、利用者の利便性等を総合的に検討。
- ・シャトルバスには低公害バスを導入。シャトルバス以外の観光バス、タクシーについても低公害車化を誘導。
- ・シャトルバス内では、利用者の理解とマナー意識の向上のため、テープやビデオにより大台ヶ原の自然の特徴や利用ルールなどを解説。

より良好な森林地域の保全の強化

■利用調整地区の設定

◆検討案

- ・より良好な森林が存在している地域（西大台を中心に検討）を利用調整地区として、利用可能人数・期間等を制限。自然環境への影響の低減と、ガイドツアー等との組合せ等によるより質の高い自然体験の提供。

メモ

総合的な利用メニューの充実

1) 登山道・自然観察路の充実

◆検討案

- ・標識や看板の内容、設置場所等の再検討を行い、安全で快適な利用を促進。
- ・現在の廃道を含め、登山ルートの再検討を行い、コースを多様化。
- ・各登山道までの移動手段を検討し、利便性を向上。

2) キャンプ指定地の設置

◆検討案

- ・予約制の有料キャンプ地を指定し、豊かな自然を間近に感じる場を提供。
- ・場所、規模、水の確保、トイレ、自然環境への影響等を総合的に検討。

3) 山上駐車場の周辺の活用

◆検討案

- ・マイカー規制の期間中に山上駐車場の空いたスペースをイベント広場として活用し、利用者との交流を通して、地域をアピール。
- ・ガイドツアーやボランティアなどの活動の拠点としての山上駐車場の利用を推進。

4) 自然解説・自然体験プログラムの充実

◆検討案

- ・専門的な知識を持つ有料ガイドを導入したり、ガイドとともに自然への理解を深める自然観察会等の『エコツアー』を実施し、より深い自然とのふれあいの機会を提供。
- ・若者男女、登山経験の有無に関わらず、多様な利用ができるようにプログラムを充実。
- ・地域の知識や経験を活かしたガイドとなる人材の発掘、育成。

5) 情報提供・情報発信の充実

◆検討案

- ・規制内容や利用ルールなどの利用情報を的確かつ迅速に提供。
- ・ホームページや刊行物など多様な手段により、大台ヶ原の魅力や利用情報の普及を推進。
- ・研究成果や調査データを集積し、同時に広く発信する機能の創設も。

6) ビジターセンター機能の充実

◆検討案

- ・展示の充実やイベントの開催等により、利用者が自然環境への興味・理解をより深め、参加型の関わりができる場を提供。
- ・利用者にルール、マナーを指導するなどの教育機能の充実。
- ・エコツアーやボランティア活動の拠点、利用調整地区やキャンプ指定地の管理拠点としての機能も。